

# 投 稿 規 程

平成15年12月15日

1. 本誌は、北海道社会保険病院の機関誌として、年1回以上発行する。和文で「北海道社会保険病院紀要」、英文で「Proceedings of Hokkaido Social Insurance Hospital」とする。
2. 本誌の内容は、総説、原著、研究論文、症例報告、臨床研究、学会発表、雑誌掲載記録、集談会記録、年報、年間の業績、院内の各委員会や各部局の活動報告、現況、医療統計その他とする。
3. 本誌は、当院、本病院関連施設からの原稿を掲載し、投稿者は、本院の職員、および編集委員会の認めたものとする。
4. 原稿は、他誌に掲載されていないもので原則未発表のものとする。和文または英文のいずれでも良いが、ヘルシンキ宣言に合致し倫理上問題のないものに限る。
5. 原稿の採否および掲載順序は編集委員会で決定する。
6. 原稿は、簡潔明瞭を旨とし、編集の都合により原文の論旨を変えない範囲内で著者に訂正を求めることができる。
7. 校正は、原則として1回とし、著者が行う。校正は、誤植の訂正程度とし、原文の著しい修正、削除を加えてはならない。
8. 掲載料は無料とし、別刷りは1編につき30部までは無料進呈とする。
9. 原稿は、横書きで、400字詰め原稿用紙を用いても、ワープロを用いてもよい。ただし、文字の大きさは明瞭、5mm大以上で、行間も5mm以上余裕をあけるものとする。英文の場合は、A4判に準じた用紙にダブルスペース（28行）で記載すること。プリンターによる印字原稿も上記に準じる。
10. ワープロ・コンピュータソフトを用いた場合は、印字原稿の他に原稿を保存したフロッピーディスクやMO・CD・DVDなどの記録媒体（機種・OSとアプリケーションを明記）を添付すると編集作業が迅速に行なえるので望ましい。（テキストなど汎用ファイルでの保存が望ましい。）
11. 原稿の様式は、論文の題名、著者名、所属部署、本文、文献、図表の順とし、論文の題名、所属、著者名は原稿の1枚目に記載する。
12. 原稿の総枚数は、図表（一点につき原稿用紙1枚に換算）、文献を含めて30枚以内とする。
13. 研究論文は、緒言（はじめに）、対象と方法、成績結果、考察、結論の順に、また症例報告は、はじめに、症例、考察の順に記述する。原稿には、頁数を明瞭に付記する。
14. 原稿の文体には現代かなづかい、当用漢字、慣用医学用語、算用数字、C.G.S単位を用い、「である」調とする。医学用語は、原則として日本語を用い、略語を用いるときは初出の際説明する。止むを得ない外国語、外国人名、外国地名は原語のままか、カタカナを用いる。薬品名は一般名を基本とする。
15. 図表は、15点以内とし、そのまま写真製版できる程度の明瞭なものとする。表題は図や写真（白黒、キャビネ版以下）の場合下に、表の場合は上に付記する。その挿入箇所については、原稿本文中に朱字で指定するのが望ましい。
16. 引用文献は引用順に番号を付け、本文の最後の一括して記載する。また本文中の引用箇所にもその番号を右肩につける。引用文献の書き方は、  
雑誌の場合・・・著者名：表題、雑誌名、巻、（号）：頁-頁、年号（西暦）  
単行本の場合・・・著者名、引用論文、書名、版、出版社、発行地、西暦（年号）、頁・頁  
を完全に記載する。なお、著者名は3名までとし、それ以上の場合は、“ほか”または“et al”とする。  
誌名の省略法は、医学中央雑誌、収録雑誌略名表かIndex Medicusによる。

## 引用文献例

雑誌・・・1) 早川庚申、中島正嗣、東 健、ほか：大腸がんにおけるKras遺伝子の検討。  
日消誌 88:1539-1545. 1991

2) Shiina S, Tagawa K, Unuma T, et al: Percutaneous ethanol injection therapy for hepatocellular carcinoma: A histopathologic study. Cancer 68: 1524-1530 1991

単行本・・・3) 武藤康利：消化・吸収からみた大腸の働き。消化・吸収、新版、第一出版、東京、1988、176-187

4) Lever WF, Schaumburg-Lever G: 9 Vascular Disease. Histopathology of the skin, 6<sup>th</sup> Ed, JB Lippincott, Philadelphia, 1983. 164-189

17. 原稿とは別に論文要旨を、日本語で、400字以内にまとめ、key words（5つ以内）をつける。できれば英文タイトルをつける。また論文要旨に合致した英文抄録を添えることが望ましい。表題、氏名、所属、要旨の順に200語以内にタイプまたはワードプロセッサを用いて記載することが望ましい。